



和太鼓の響きの中に、きらびやかなドラムの夢が通り過ぎる…
 芸術監督・坂東玉三郎演出の最新作は、次々と現れるイメージーションの旅。
 緊張とリラククス、静けさと喧騒、そして混沌と融合。
 叩き奏でる音色が織りなす心地よい時間をお届けします。

鼓童というグループと一番初めに発表したのが2003年の「鼓童ワン・アース・ツアー スペシャル」のための作品でした。その後「アマテラス」、「打男」、「伝説」、「神秘」、「永遠」となります。この次にはどのような音楽的な広がりのある作品を創ろうかと考えていたのですが、今回は思い切って、ドラムセットを入れてみたのです。既に「伝説」ではティンパニを入れましたが、思いのほか和太鼓との音の馴染みが良く、今ではほとんどの作品で太鼓の響きの後の余韻として、自分にはなくてはならないものとなっています。

このようにして、さまざまな打楽器を使っていくうちに、ティンパニ、ドラムセットはもちろんのこと、和太鼓も西洋打楽器も含めて、すべて打楽器であることにはまったく変わりが無いということに改めて気が付くのです。演奏者が打楽器奏者として芸術的で音楽的な演奏さえ実行出来れば、西も東も、また古代も現代も未来もすべての音が融合して、心地よく聴くことが出来ると思えました。

芸術は、継承と発展を繰り返しながら未来へと進んでいきます。人間は常に過去を懐かしみ、未来に不安を抱くのは当然のことですが、思いきって新しい試みをする事で、また更に新鮮な雰囲気醸し出されて行くのでしょうか。

坂東玉三郎



太鼓芸能集団 鼓童 KODO

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。打ち手によってたたき出される響きは、聴く者の身体に強く働きかける。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。1年の1/3を海外、1/3を国内、1/3を本拠地・佐渡島で過ごし、これまでに47ヶ国で5,600回を越える公演を行う。異ジャンルの優れたアーティストとの共演、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加。2012年より歌舞伎俳優・坂東玉三郎を芸術監督に招聘。

【創立35周年記念コンサート】開催決定！

2016年8月18日(木)、19日(金)、20日(土) 東京・サントリーホール

8月18日(木) 第一夜～出逢い～
 出演:鼓童、新日本フィルハーモニー交響楽団/指揮:下野竜也

8月19日(金) 第二夜～螺旋～
 演出:坂東玉三郎/出演:鼓童

8月20日(土) 第三夜～飛翔～
 演出:坂東玉三郎/出演:鼓童、ゲスト:BLUE TOKYO, DAZZLE

サントリーホール株式会社
 オンキヨー&バイオニア
 インベーション株式会社
POLA

KODO

演出:坂東玉三郎
 企画制作:(株)北前船
 写真:岡本隆史

鼓童

ウェブサイト: <http://www.kodo.or.jp>
 フェイスブック: [KodoHeartbeatJp](https://www.facebook.com/KodoHeartbeatJp)

952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1
 Tel. 0259-86-3630(月～金、9:30～17:00) Fax. 0259-86-3631 Email: heartbeat@kodo.or.jp